



Banco MUFG Brasil S.A.

Treasury & Markets
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

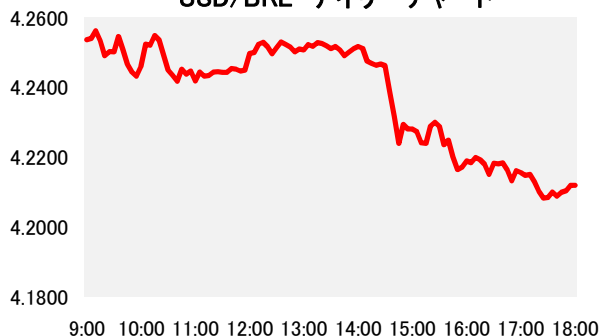
			11月22日	11月25日	11月26日	11月27日	11月28日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	4.1950	4.2270	4.2390	4.2600	4.2120	-0.0480
	BRL/JPY	Spot	25.900	25.770	25.72	25.70	26.06	+0.36
	EUR/USD	Spot	1.1023	1.1010	1.1024	1.0999	1.1009	+0.0010
	USD/JPY	Spot	108.63	108.94	109.04	106.54	109.53	+2.99
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	4.450	4.442	4.490	4.470	4.456	-0.014
	Future	1Year(p.a.)	4.588	4.606	4.683	4.676	4.650	-0.026
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.625	2.686	2.726	2.708	2.597	-0.111
	USD	1Year(p.a.)	2.536	2.577	2.607	2.588	2.571	-0.017
株式	Bovespa指数		108,692.30	108,423.90	107,059.40	107,707.80	108,290.10	+582.30
CDS	CDS Brazil 5y		125.44	124.19	123.87	124.63	123.87	-0.76
商品	CRB指数		180.371	180.569	181.100	180.880	180.347	-0.53

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

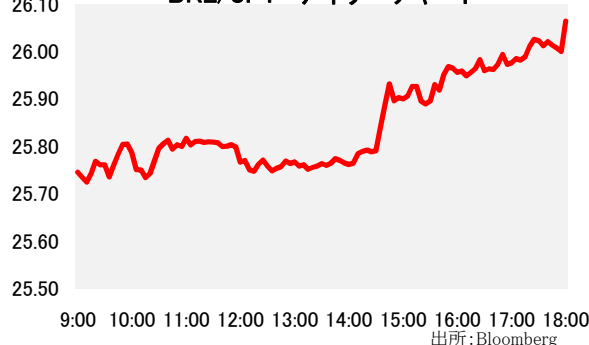
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FGV建設コスト(前月比)	0.26%	0.15%	0.12%
連邦政府債務残高	--	4121b	4156b
(米)小売在庫前月比	0.10%	0.30%	0.20%
(米)卸売在庫(前月比)	0.20%	0.20%	-0.70%
(米)住宅価格(購入)指数(前期)	--	1.10%	1.10%
(米)新築住宅販売件数	705k	733k	738k
(米)コンファレンス・ト`消費者信頼感	127.00	125.50	126.10

USD/BRL デイリーチャート



BRL/JPY デイリーチャート



3. 要人コメント

(特になし)

4. トピックス

- 本日のレアルは続落し終値ベースで史上最安値を再び更新した。レアルは日中高値4.2290で寄り付いた後、米国で好調な経済指標の発表が相次いだことを背景にドルが主要通貨に対して強含んだことを受けて下落。米・第3四半期GDP改定値(予想:1.9%⇒実績:2.1%)は市場予想を上回り、米地区連銀経済報告(ベージュブック)においても茲許減速感が明らかになっていた「製造業に明るい兆候が表れた」とされた。正午過ぎにレアルが日中安値4.2690を付けると中銀は2日間で3度目となる介入を断行し、4.24台後半まで上昇。その後はドル相場と連動しながらも狭いレンジでの推移に終始し、結局4.2600でクローズした。
- 中銀は昨日以来3度目となる介入を実施。この日も昨日同様4.27付近で介入を実施したことから、中銀が同水準を超えるレアル安を容認しない姿勢がうかがえる。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。